1) 耐震診断等概要表

（様式-2）

1 建物概要

建築物の名称(棟番号)	大和高田市立総合体育館　北棟
区分、面積(対象面積)	用途(　体育館　)　建築面積(　4958.87　㎡)　対象面積(　5429.7 ㎡)
建築年月日、構造、階数	昭和57年　鉄筋コンクリート造　一部鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造　地上2階
申込者名	大和高田市長　堀内 大造
所在地	奈良県大和高田市大字大中98番地4
申込み要件	☑耐震診断　☐耐震補強計画　☐総合判定
基礎、地盤条件	杭基礎(許容支持力　400φ：490kN(50t)/本、500φ：735kN(75t)/本)
構造上の特徴	平面　☑ほぼ整形☑　☐不整形　☑、　立面(　☑ほぼ整形・　☐不整形　) 構造形式　(X方向：耐震壁付ラーメン架構　Y方向：耐震壁付ラーメン架構　) 極脆性柱　(　☑有　・　☐無　)、　下階壁抜　(　☑有　・　☐無　) 平面柱抜　(　☐有　・　☑無　)、　PCa屋根　(　☐有　・　☑無　)

2 診断方針

診断法(計算法)	☑第2次診断、　☐第3次診断、　☐屋体診断基準、　☐応答解析　、 ☐その他(　　)　(　☐手計算、　☑電算機　)
電算ソフト(ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ)/(作成者)	Super Build 耐震診断2001 Ver3　ユニオンシステム(株)
診断実施者(資格)	株式会社 中和設計　中谷　淳一　(1級建築士登録番号:第　348850　号)
連絡先住所(TEL/FAX/E-mail)	住所：奈良県橿原市今井町2丁目1番14号 TEL：0744-25-5356　FAX：0744-25-2697　E-mail：j-nakatani@chuwa-arch.co.jp
診断実施年月日	令和　6　年　11　月　15　日
材料調査:調査値 設計値、診断使用値等	ｺﾝｸﾘｰﾄ:調査値=　18.7～26.9　設計値=210(kg/cm2)　診断使用値=　19.0、19.1　(N/mm²) 鉄筋：　SD30，SD35　設計値(σy)=　295，345　診断使用値=　344，394　(N/mm²) 鉄骨：　SS41，SM51A　設計値(σy)=　235，325　診断使用値=　258.5，357.5　(N/mm²)

3 診断結果 (Is2又はIs3、CtSD又はqStを*欄に付記して記入、所見に判定、Isoとの関係等を記入)

	補強前				補強後			
	Isx	$C_{TU}\cdot S_D$	Isy	$C_{TU}\cdot S_D$	Isx	$C_{TU}\cdot S_D$	Isy	$C_{TU}\cdot S_D$
	管理室・サブ競技場ゾーン							
1F	0.62	0.21	1.77	1.92				
最小値	0.62	0.21	1.77	1.92				
	競技場ゾーン							
2F	1.61	1.74	1.67	1.81				
1F	0.36	0.39	0.82	0.89				
最小値	0.36	0.39	0.82	0.89				

(調査および診断に関する所見)

・目標値
　Iso＝0.60、CTU･SD≧0.30
・管理室･サブ競技場ゾーンのX方向、および競技場ゾーンの1階XY方向はゾーニングによる検討を行っている
・左記ゾーンをつなぐ渡り廊下は地震時に脱落する危険性がある。

総合所見に示す。

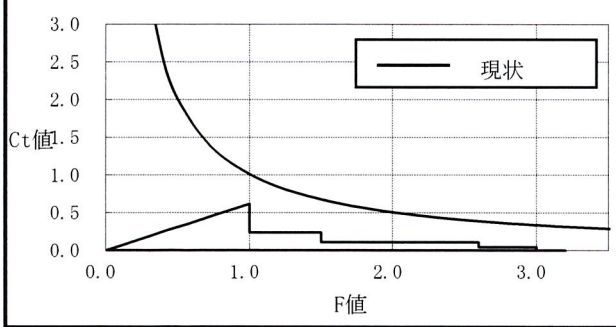
4 補強計画 (補強方法別に各階の補強箇所数、合計数を記入、所見に判定、Isoとの関係等を記入)

	壁増設	壁補強	袖壁増設	袖壁補強	柱増設	柱補強	ブ増設	ブ補強	スリット	基礎補強	荷重軽減	その他

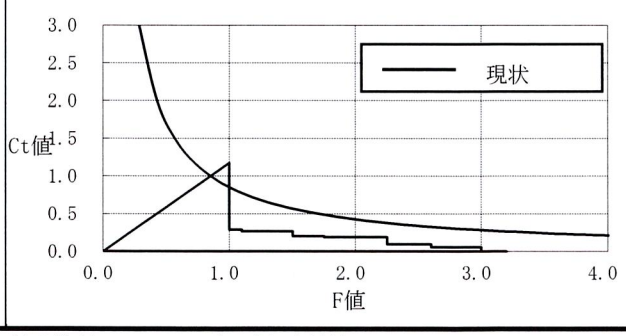
(補強に関する所見)

5 付図 Ⅰ(補強前後の代表階の①Ct-F関係、主要のCt値(RC造)、又は②qSt-F値(S造)を下記に記入)

X方向〔　1　階(競技場ゾーン(Z-X2))〕



Y方向〔　1　階(競技場ゾーン(Z-Y1))〕



6 付図 Ⅱ(主要構面軸組図、主要階平面図、補強計画等の概要を別紙(A4、2ページ以内)　添付)

7 特記

・コンクリート強度試験は、各階毎、各施工時期毎に3本以上のコアを採取することを原則とする。
・コンクリートの調査値、診断使用値は全標本中の最低と最大を記す。